



ZEH-M事業:「プレミスト藤ヶ丘」(愛知県名古屋市)

詳細はこちら

長谷工コーポレーションが設計・施工を担当した2024年竣工予定の「プレミスト藤ヶ丘」(事業主:大和ハウス工業他)は、総戸数360戸の大規模分譲マンションです。

本計画は、全住戸がZEH Oriented仕様、かつ住棟単位でZEH-M Orientedの基準を満たし、建築物省エネルギー性能表示制度[BELS]による第三者認証で最高等級を取得しています。

すべての窓ガラスへのLow-E複層ガラスの採用や、天井部分への断熱材の追加により建物の基本性能を向上させたほか、エコジョーズやLED照明などの高効率設備の導入により、一般的な共同住宅*と比較して一次エネルギー消費量を住棟ごとに25~28%削減します。建築環境総合性能評価「CASBEE名古屋」ではAランクを取得しています。

また、各街区住棟の屋上には太陽光発電設備を設置し、発電した電気は共用部の照明や空調などに使用します。発電して使い切らなかった電気は、蓄電池に蓄えることで、夜間や停電

時にも利用できる仕組みとなっています。

※ 国土交通省が公布した「建築物のエネルギー消費性能の向上に関する法律」で定める基準建物。



環境配慮の取り組み

「ブランシエスタ浦安」(千葉県浦安市)での取り組み

詳細はこちら



2023年2月に竣工した都市型賃貸マンション「ブランシエスタ浦安」では、木造活用や環境配慮型コンクリートの使用など、「暮らしの環境配慮」に繋がる取り組みを積極的に導入しています。

最上階に木造住戸を採用

最上階に、木造とRC造のハイブリッド構造を採用。住戸内部には勾配屋根を採用したロフトを設置し、天井およびロフト格子にも木材を利用しています。木材は、その他の建築資

材に比べて製造・建設時のCO₂排出量が少ないという特徴があるとともに、CO₂の固定化にも寄与します。

環境配慮型コンクリート「H-BAコンクリート」の採用

一般のコンクリートと同様の性能を有し、かつ、コンクリート材料に由来するCO₂排出量を削減可能な長谷工独自の環境配慮型コンクリート「H-BAコンクリート」を最上階のRC造部分に採用しています。



最上階構造図



最上階居室内写真



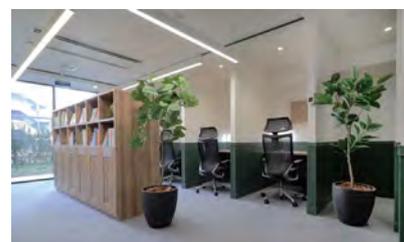
H-BAコンクリート打設の様子



「WORVE東京木場」がDBJ Green Building認証で最高評価★5取得

WORVEは「働く(Work)」と「住まう(Live)」のハイブリッドマンションとして、入居者が24時間利用できる共用ワークスペース(オープン型・個室型)や集中またはリラックスしながら仕事をするうえで必要な各設備を完備したマンションシリーズです。在宅勤務の大きな課題である「集中とリラックスの切り換え」や「孤立感」の解消を目指し、ワークスペースを含む各共用空間のデザインにもこだわりました。入居者のウェルネスやライフスタイルをサポートする先進的な取り組みが評価され、「国内トップクラスの卓越した『環境・社会への配慮』がなされた建物」としてDBJ Green Building*認証最高評価の★5を取得いたしました。

※環境・社会への配慮がなされた不動産を支援する認証制度



共用ワークスペース